

# 第10回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ

## — 成果報告 —

学校名：浅野工学専門学校

所属学科 著者名：建築デザイン科2年 ○松縄 萌那 ○石塚 幸夏（指導教員：山本 大貴）

### 1. はじめに

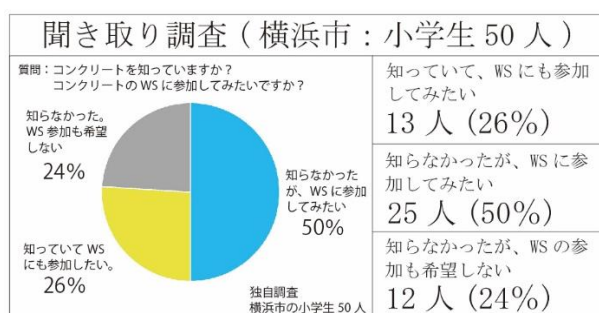
「子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」とは、日本建築学会子ども教育事業部会が主催する次世代を担う子どもたちに建築・都市を学ぶ機会をつくる目的で子ども向けのワークショップを学生が企画し提案するコンペである。最優秀作品は、ワークショップを実施するための費用も含めて検討されるものである。また、今年に関してはコロナウイルス感染拡大防止への配慮をはじめ、社会状況の変化に対応した実現可能な提案が求められた。

そこで、私たちは最優秀賞並びに自己成長を目標とし参加した。本報では、提案したワークショップの企画内容とその結果について報告を行う。

### 2. 建設材料を活かしたワークショップの提案

本校はコンクリート事業に深い歴史のある学校であるため、座学、実習授業を通して、建築材料のひとつであるコンクリートの新しい知見を楽しく学ぶことができた。その経験と感動を子どもたちの目線で体感してほしいという思いからコンクリートを題材としたワークショップの提案を試みた。まず私たちは、ワークショップの対象となる子どもたちに聞き取り調査を実施し、子どもたちの興味の幅を理解しそれを深める方法を考えた。その結果、コンクリートに興味を持っている子が一定数いることが判明した（表1）。

表1 聞き取り調査



そこで私たちは、ワークショップを通じて遊びながら建築工事を学ぶという意味で「(遊) 子ども建設」と題し、子どもたちにコンクリートの材料の一部であり、より容易に作成できる材料であるセメントペースト（水とセメントを混ぜたもの）を活用したワークショップを提案することにした。また、工事工程であるセメント練りを体験してもらうことによって、建築材料をより身近に感じてもらうことも目的としている。

### 3. 審査会の準備

#### 3-1. ワークショップの企画・検討

ワークショップの企画とその材料の検討を繰り返した（写真1）。特に作り方の手順や、成果物（写真2）を含めた製作過程で建築材料の興味につながるものを検討することに苦労した。また、オンラインならではの課題（材料の提供方法や作業工程の説明等）が浮き彫りとなり、検討の繰り返しであった。



写真1 WS材料の検討の様子

写真2 成果物の例

#### 3-2. 審査会の事前準備とプレゼンシート

ワークショップ概要表（表2）とプレゼンシートを提出した。WS概要表では、実施予定日時・実施方法（企画条件参照）・当日スケジュール・スタッフ配置・予算等の各事項を明記。プレゼンシートは、企画タイトル・コンセプトなど、ワークショップを実施するために必要な情報を明記し、プレゼンシートはそのままポスターにできるように子ども向けのかわいらしいデザインにした。ここから昼夜全てを注いだプレゼンテーションの準備が始まる（写真3.4）。

表2 ワークショップ概要票詳細

| WS 提案概要票 |                     |                      |
|----------|---------------------|----------------------|
| 実施予定日    | 10/16(土)            | 当日スケジュール             |
| 実施場所     | オンライン               | 12:00 材料準備・インターネット接続 |
| 参加者予想規模  | 小学生 20人<br>(保護者参加可) | 12:45 参加受付           |
|          |                     | 13:00 ワークショップ開始      |
|          |                     | 概要説明・アイスブレイキング       |
| スタッフ配置   | 小学生 20人<br>(保護者参加可) | 14:00 セメント練り・打設      |
|          |                     | 14:30 休憩             |
|          |                     | 15:00 経過観察・クイズ       |
| 準備物      | セメント 7,000円         | 15:30 脱型             |
|          | 温度計 2,800円          | 16:00 発表             |
|          | 送料 26,000円          | 16:30 片付け・まとめ        |
|          | ゴム手袋 5,600円         | 準備スケジュール             |
|          | マスキングテープ 2,800円     | 6月 コンペ実施             |
|          | 広告費 40,000円         | 7月 企画ブラッシュアップ・広告作成   |
|          |                     | 8月 参加者・スタッフ募集        |
|          | 9月 プレ実施             |                      |
|          | 10月上旬 材料発注・発送       |                      |
|          | 10/16 ワークショップ実施(予定) |                      |



写真3 送付するWS材料



写真4 WS用の材料と道具

#### 4. ワークショップの工程

参加者の自宅のPCをたちあげ、パソコンでweb会議に接続する(1)。オンライン上で送付物や準備物及びワークショップの手順を確認する(2)。オンライン上でワークショップを実施する(3)。その際に、質問等が出来る状態にしておき、カメラ・音声機能を On にした状態にし、成果物が完成させる(4)。そして成果物をワークショップ参加者に向けて発表をする(5)。発表が終わったら片付けをする(6)。最後にアンケートを記入し、ワークショップ終了します(図1)。



図1 WS(ワークショップ)の工程

#### 5. 審査会の様子

審査会は、オンラインでの実施され、日本全国から学生が参加し、応募数は過去最多の46団体であった。

#### 5-1. 1次審査

1次審査では、1チーム1分のプレゼンテーションと質疑応答を5チーム毎に9セッション行った。短い発表時間の中で企画の概要を伝える言葉選び、そして審査員の興味を引く画面作りに尽力した。その結果「(遊)子ども建設」という名前と建築材料に着目した新しい企画内容が評価され、2次審査に進むことができた。

#### 5-2. 2次審査

2次審査では、引き続き質疑応答が中心であった。建築材料でもあり、構造の学びも含まれるワークショップとして新たな視点からの批評があり、その珍しさと純粋に子どもが楽しめるという点が評価され、構造家の木下洋介さん(株式会社 木下洋介構造計画)より審査員賞を受賞した。

他審査員の方から実施に向けたアドバイスを伺い、ワークショップを実施する意義や、現在の小学校ではこうしたアイデアが必要であることを学んだ。また、総括として本ワークショップの成果物の自由度をさらに広げるべきであるという指摘があり、セメントペーストの自由な形を作ることができる利点を活かさされていないと反省した。

#### 6. おわりに

今回私たちは最優秀賞と自己成長を目標としていたが、準備期間を通して子どもたちのエネルギーや自分たちの幼少期に経た体験の大切さに気づくことができた。審査会当日は、他学生の発表と審査員の方々の率直な意見を伺う貴重な場であった。

これからも学内外ともに様々な活動に従事し、その経験を今後の社会人生活にいかしていきたい。その第1歩として今回の「(遊)子ども建設」の実施を目指す。そして何よりも私たち自身が学生生活で経験したこと建設材料を扱う上での楽しさや奥深さに共感、評価していただけたことに感謝したい(図2)。



図2 WS(ワークショップ)のフライヤー